

為替市場

	Open	High	Low	Close	Change	
USD/TWD	31.460	31.640	31.460	31.609	+0.178	(+0.6%)
USD/JPY	157.42	157.97	157.16	157.76	+0.425	(+0.3%)
JPY/TWD	0.2004	0.2013	0.2003	0.2009	+0.0005	(+0.2%)
EUR/USD	1.1685	1.1706	1.1531	1.1613	-0.0077	(-0.7%)
USD/CNH	6.9000	6.9435	6.8750	6.9200	+0.0181	(+0.3%)

株式/商品市場

	Close	Change		Close	Change
台湾加権指数	34,323.65	-771.44 (-2.2%)	ダウ平均	48,501.27	-403.51 (-0.8%)
日経平均	56,279.05	-1778.19 (-3.1%)	S&P 500	6,816.63	-64.99 (-0.9%)
TOPIX	3,772.17	-126.25 (-3.2%)	WTI	74.56	+3.33 (+4.7%)
上海総合	4,122.68	-59.91 (-1.4%)	Brent	81.40	+3.66 (+4.7%)
DAX	23,790.65	-847.35 (-3.4%)	金	5,107.40	-187.00 (-3.5%)

債券市場

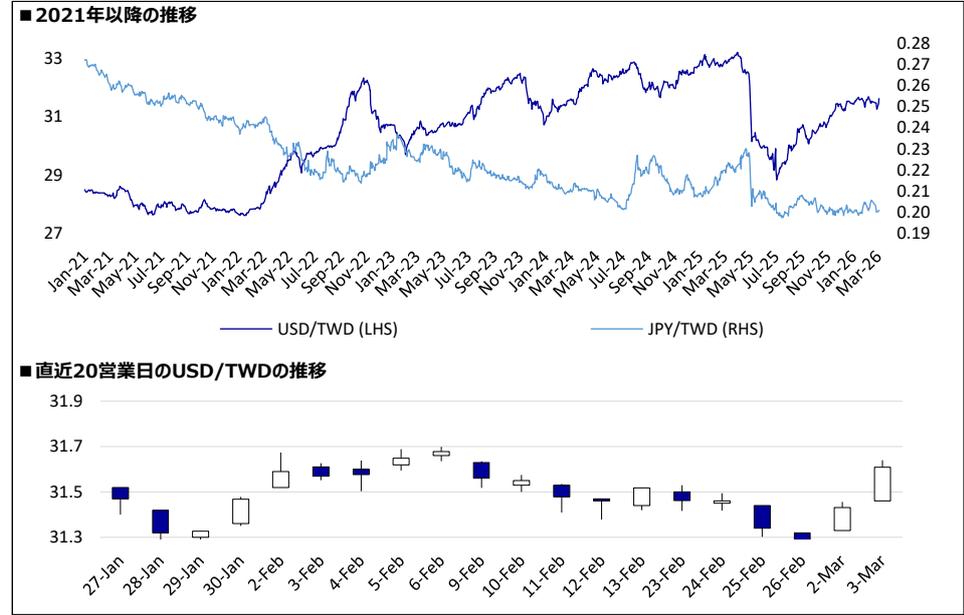
	2年債	5年債	10年債
台湾国債利回り	1.19% (+0.0bp)	1.34% (+0.0bp)	1.44% (+0.0bp)
日本国債利回り	1.26% (+3.7bp)	1.61% (+6.9bp)	2.15% (+8.2bp)
ドイツ国債利回り	2.18% (+9.2bp)	2.41% (+8.5bp)	2.78% (+6.7bp)
米国債利回り	3.50% (+1.3bp)	3.63% (+0.9bp)	4.06% (+0.5bp)

前日の市場動向

■USD/TWD
昨日のUSD/TWDは上昇展開。31.460でオープン後、地政学リスクを背景に国際的なドル高が進み、アジア通貨の軟調が継続し、31.500台後半まで上昇。午後、台湾株の下落幅が拡大し、外資による資金流出が加速したことで、31.600台を乗せてもみ合い。最終的に31.609、前日比0.6%高でクローズ。株式市場における外資の売り越し額は947.1億台湾ドル。

■USD/JPY
昨日のUSD/JPYは上昇展開。157.42でオープン後、中東情勢の緊迫化を受けたリスクオフのドル買い優勢となる中、一時157.59をつけた。ただ、日経平均が続落したことや、朝方に片山財務大臣による牽制が入ったことも嫌気され、その後は157円台前半でのレンジ推移。海外時間、リスクオフの展開からドル買いが進み、一時157.97まで上昇するも、主要な米経済指標の発表が予定されていない中、介入警戒から上値を押さえられた。最終的には157.76、前日比0.30%高でクローズ。

台湾ドルの推移



本日の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.550-31.750
本日のUSD/TWDは強含み推移を予想。中東情勢の緊迫化により市場のリスク回避姿勢が強まり、ドルの支えとなった。アジア株の軟調が継続すれば、外資の資金流出が続き、台湾ドルに売り圧力がかかりやすい。

■USD/JPY 予想レンジ：157.00-158.20
本日のUSD/JPYは強含み推移を予想。地政学リスクの高まり、リスクオフ需要がドルを押し上げているほか、インフレ懸念による米金利上昇がドルを支える要因となっている。

今週の予定

3/2 (MON)	米2月製造業PMI
3/3 (TUE)	日本1月失業率
3/4 (WED)	台湾1月輸出受注、米2月ADP雇用者数
3/5 (THU)	台湾1月鉱工業生産指数、米1月輸入物価指数
3/6 (FRI)	台湾2月CPI、米1月小売売上高・2月雇用統計

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。